

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都市长	平成26年 7月 11日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市伏見区南浜町247番地	報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 月桂冠株式会社 取締役社長 大倉 治彦

京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004
適用範囲	月桂冠株式会社 経営本部・営業本部（営業推進部・貿易部・物流部）・製造本部
導入年月日	2008年 10月 16日
認証番号	JMAQA-E757
基本方針	月桂冠株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題のひとつと認識し、持続可能な社会の実現に貢献すべく、あらゆる事業活動において、環境保全への取り組みを継続的に推進していきます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>①水使用量を、2013年度の実績を基準とし、2014年度末までに1%削減する。 ②CO2排出量を、2011年度～2013年度の平均実績を基準とし、2014年度末までに20%削減する（昭和蔵）。2010年度の実績を基準とし、2014年3月までに0.4%削減する。 ③環境法令の順守体制を強化する。具体的には高BOD値の排水を排出しない、各部署に関する環境法令に関する勉強会などの開催により要員の意識向上を図る、など。 ④全社における、地球環境保全活動への参加、各事業所周辺の清掃活動を推進する。 ⑤開発及び資材調達部門における環境配慮型お工夫・仕組みをもつ商品、資材の開発・改良を1件以上行う。 ⑥コピー用紙使用量を2013年度の実績を基準とし、2014年度まつまでに1%削減する。</p>
目標を達成するための取組の内容	<p>①水使用量：洗濯機からリンサーへの変更、老朽化設備の更新、更新時の節水型設備の導入 ②CO2：高効率設備の導入、ユーティリティ供給設備の効率的運転、老朽化設備の更新 ③環境法令の順守：各部署での勉強会の開催 ④地球環境保全活動：清掃活動の推進 ⑤環境配慮型商品の開発：包装資材の軽量化、簡素化 ⑥コピー用紙：裏紙の使用、両面印刷、電子文書（ペーパーレス）化</p>
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>①水使用量：洗濯機からリンサーへの変更、ライン更新時に節水型設備を導入。 ②CO2：老朽化したユーティリティ供給設備を更新し、高効率設備を導入。 ③環境法令：本年度の各部の研修に環境法令を題材に盛り込む。 ④地球環境保全活動：活動の推進を行っている。 ⑤環境配慮型商品の開発：本年度も既に2件達成。 ⑥コピー用紙：全社で意識の向上が見られている。</p>
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>①水使用量：2013年度は醸造工場では目標値に到達せず。 ②CO2：2013年度は目標を達成した。 ③環境法令：本年度に初めて目標に設定、今後各部署で教育等行う予定。 ④地球環境保全活動：2013年度は全社で目標値達成。本年度も順調。 ⑤環境配慮型商品の開発：2013年度は目標達成。本年度既に2件達成。 ⑥コピー用紙：全社で目標達成。本年度も順調。</p>
事業活動に係る法令の遵守の状況	法令順守については現時点では問題なし。関係法令はすべて順守されている。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価、見直しについては年度末に1回検討を行っている。 2014年度のシステム運営については、2013年度までとほぼ同じシステムで行っているが、本年度より次のように管理区域を変更した。 前年度までは「昭和蔵（製品工場）」、「大手蔵（醸造工場）」、「本社」、「物流センター」と4つに分けていたものを、本年度から「製造本部（昭和蔵と大手蔵）」、「経営本部・営業本部（本社と物流センター）」の2つに統合。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。